

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科					コース名	動物看護コース				
科目名	動物入院管理						必修・選択必修の別		必修		
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	30	時間	
	2年	前期	15	時間	後期	15	時間				
	3年	前期	-	時間	後期	-	時間				
担当講師	加藤 麻衣子										
	実務経験		有		動物病院勤務経験をもとに、入院患者およびその飼い主様に対しての適切な看護・対応を指導することができる。						
授業概要	飼い主と離れて病気の治療を受ける動物を、身体的・精神的な面から支える重要な仕事が入院管理である。入院中の動物の管理について、前半は食事・排泄・運動など管理の基本を、後半は動物の状態別に対処の方法を学んでいく。							授業形式		講義	
到達目標	動物看護師として、基本的な入院管理の方法を学ぶことで、入院生活における動物のストレスを軽減できるよう対処ができる知識やテクニックを習得する。また、動物の性格や症状(状態)を把握し、その動物ごとに個別性のある看護が実施できるよう知識を習得する。										
教科書・教材・服装等	配布プリント										
授業計画時間数	授業内容										
1	動物入院管理：入院の目的、日常管理、飼い主の心理やインフォームドコンセントについて学ぶ。										
2	入院看護とは：入院に関する注意点、飼い主のメンタルケアについて学ぶ。										
3	看護動物の受け入れ：預かる際の手順と準備、入院動物を扱う際の注意点										
4	入院環境の確認：病床の準備、ケース別による入院環境の配慮										
5	入院動物の観察：入院動物の観察ポイント、記録と報告										
6	入院室の衛生管理：入院室の清掃について、消毒に関する復習										
7	入院管理の復習										
8~9	運動と排泄：動ける動物の運動、歩行が困難な動物の補助／排泄困難な動物の補助										
10~11	食事管理と補助：カロリー計算、食欲がある動物・ない動物の給餌補助										
12~13	動けない動物のケア：動けない動物の預かる際の注意点・褥瘡管理の方法について学ぶ。										
14	復習										
15	定期試験										
16	テスト返却・確認										
17	ペットホテル：健康な動物の預かりについて管理の方法について学ぶ。										
18~19	混合ワクチン：次回伝染性疾患に向けての復習										
20~21	伝染性疾患患者の看護：感染症に対する対策、感染動物の管理について学ぶ。										
22~23	輸液管理：輸液の目的、準備、輸液中の動物の管理について学ぶ。										
24~25	疼痛管理：痛みのある動物の特徴、管理について学ぶ。										
26~27	術前・術後管理：手術室の管理、術前・術後の動物の管理について学ぶ。										
28	ICU患者の対応：ICU患者の管理について学ぶ										
29	復習										
30	定期試験										
成績評価方法	・出席率					定期試験	○	筆記試験			
	・定期試験や小テスト							実技試験			
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない			

成績評価基準	A評価	出席率100～90％以上・定期試験や小テスト80点以上
	B評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト70点以上
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60点以上
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合